

北中学校だより

北風

(かえで)

令和6年12月13日(金)

第49号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～

めざす生徒像 「気づき 考え 行動する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

めざす学校像

基本理念【ひとりの生徒を 粗末にしたとき 教育は その光を失う】

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 清潔で花いっぱい学校
- (5) 地域とともに歩み、信頼される学校



雨だれ石をうがっ

「雨だれ石をうがっ」という言葉があります。ポタポタ落ちる細い、弱い雨だけれども、長い間同じところに落ち続けることによって、固い頑丈な石にでも穴を開けることができるという意味です。つまり、微細な力でもそれに打ち込んで努力すれば、どんな苦難な壁でも乗り越えることができるということです。

また、「どれだけ努力したかを絶えず自己に問いかけられる人は、必ず良い結果が得られる」とも言われます。これは、「努力」ということの偉大さを讃えたものであり、自分に向かって、自分はどれだけ努力したか、頑張ったかを問い続けている人であれば、その人は必ず良い結果が得られるというわけです。

学習の世界でも、スポーツや芸能の世界でも、何をとっても結果はすべてどれだけ努力したかによります。

かの有名な発明王エジソンは「成功とは結果で量るべきではなく、それに費やした努力の総計で量るべきである。」と言っています。また、「天才とは1%のひらめきと99%の努力である。」とも言っています。

このように人間の偉業には、必ず偉大な努力が伴っているのですが、ややもするとその結果にばかりとらわれすぎて、「努力」ということが忘れられてしまうことがあります。

たとえばスポーツの試合の結果などでも、「勝つ」ということは大切ですが、「勝つ」という結果がどのようにして生まれたのか、そこに至るまでの過程でどれだけ頑張ったかという「努力」の問いかけが大事だと思います。結果ばかりに気をとられている人も少なくありません。「栄光の陰に涙あり」とも言われますが、涙があつてこそ、「努力」があつてこそ「栄光」という結果が得られるということを生徒の皆さんにも知ってもらいたいと思います。

3年生は進路決定に向けて取り組んでいると思います。受験(受検)は今までの「努力」の結果が試される時です。

3年生の皆さん全員が、希望の進路に進めるよう心から願っています。



また、部活動に入部している1・2年生の皆さんは、新人戦がすでに終了しました。結果はどうだったでしょうか？大会に向けて、「負けたくない」「勝ちたい」「優勝したい」と口で言うのは簡単なことですが、それはどの学校の部員たちも思っていることです。その目標に向かってどれだけ「努力」できるかが、目標を達成できるかどうかの鍵になります。

この秋季大会(新人戦)で良い結果が残せなかった部活動も、地道な努力を続けながら冬場を乗り越え、来年の春季大会や7月の総合体育大会で「栄光」を手にして欲しいと思います。

～参考文献『心を揺る「講話」の力』教育開発研究所～

各種大会

☆卓球部

オータムンカップ大会

予選リーグA

対 茂原中学校	3 - 2	勝利
対 蘇我中学校	0 - 3	惜敗
対 東金中学校B	1 - 3	惜敗
予選リーグ惜敗		

☆ソフトテニス部

白子カップ

中学生1年生の部

染野 陽天 (1年1組)・山崎 蒼空 (1年1組)	2回戦進出
古川 泰成 (1年1組)・田中 鈴翔 (1年1組)	1回戦惜敗

中学生2年生の部

安達 俊祐 (2年1組)・都築 怜雅 (2年2組)	1回戦惜敗
松ヶ谷思葉 (2年2組)・安藤 愛将 (1年1組)	1回戦惜敗

☆山長夷アンサンブルコンテスト

金管打楽器七重奏の部

坂本 璃穂 (2年1組) 磯崎娘虎美 (2年2組)	
鈴木優里彩 (2年2組) 吉田虎太郎 (2年2組)	
花田恵理子 (1年1組) 永野心彩姫 (1年1組)	
相沢 瑠衣 (1年1組)	

銀賞